

計算書類に関する注記（一般会計）

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券について、市場価格のあるものについては時価評価を行っている。

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品一定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金－期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、貸付金、未払金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は3に記載のとおりである。

(5) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	914,607,426		6,783,426	907,824,000
定期預金	7,671,515		7,391,250	280,265
合計(基本金)	922,278,941	0	14,174,676	908,104,265

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現預金	8,784,807	17,449,225
未収金	3,746,567	3,045,894
仮払金	383,013	
貸付金	4,000,000	6,000,000
合 計	16,914,387	26,495,119
未払金	485,989	474,904
預り金	58,906	92,856
合 計	544,895	567,760
次期繰越収支差額	16,369,492	25,927,359

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産か らの充当額)	(うち一般 正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	907,824,000	907,824,000	0	0
定期預金	280,265	280,265	0	0
小 計	908,104,265	908,104,265	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	5,263,755	0	0	5,263,755
運営準備引当預金	16,864,780	0	0	16,864,780
小 計	22,128,535	0	0	22,128,535
合 計	930,232,800	908,104,265	0	22,128,535

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	688,065	374,133	313,932
合 計	688,065	374,133	313,932

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息	28,117,772
合 計	28,117,772